



平成23年度決算終えての 財政と今後の見通しは

岩田明人 議員

町長 計画的な償還を行います



問 23年度決算は歳入が約170億円、自主財源42億円、依存財源128億円、歳出167億円差引3億円であるが、その内6億4千万円の繰り上げが24年補正で計上、メリットは何か。実質公債費比率の見通しは、平成27年度から地方交付税が6億円余り減の影響は。

答 毎年6億円を繰り上げ償還しています。このたびを含めると24億9千万円でありませぬ。

実質公債費比率の見通しはまた法定致しませんが、今のところ10%を切るように

に思います。計画的な繰り上げ償還を行います。起債発行の許可を必要としない18%以下に出来るよう取り組みたい。

メリットとしての必要性が、新たな事業の実施が求められた時に地方債の残高が大きいと、事業計画を中止、あるいは後年度に先送りさせざるを得ない状況になります。必要な事業を適宜適切に実施出来るようにするためと認識しております。

メリットの一つは銀行からの借入を繰り上げ償還すれば以後の利息が不要になります。公債費総額の抑制が出来ることが一番大きい。国の財政資金は利息補償金の支払いにより、繰り上げ償還の経費削減効果は少ない。縁故債として市中の金融機関からの借入分を優先的に償還して行きたいと思えます。

交付税措置のある起債を任意で繰り上げ償還した場合、毎年あるものとして交付税措置が継続する事になっていきます。

償還後の交付税措置分は自由に使えるお金となりいろいろな事業に活用出来ます。

問 個別案件、要青山交流施設、空き家対策等の財源内訳、町の負担額や基金積み立ては。

答 三沢要青山交流施設の事業費は4千800万円、実質町負担額は1千100万円です。

空き家対策事業は5千600万円、実質町負担は1千600万円です。

各種事業に当っては財源有利な補助金とか起債を活用するようにしたい。

問 平成23年度実施事業の経営、運営状況、幼児園化に伴う町より財政支出額は。

答 若月子育て支援室長 福祉会への23年度運営委託費、措置分の総額は3億7千724万円。運営委託費の別に地域の実情に応じた子育て支援事業に補助金や委託料を支出しています。

職員数は24年8月1日現在で総数126人です。職員は仁多福祉会の管

理規則就業規則のもと勤務致しています。

問 木製バイオマスチップボイラー状況は。佐白温泉の採算性(NPO)経営、運営指導等は。

答 津田環境政策室長 木質バイオマスチップボイラーの状況でありませんが、玉峰山荘では今年4月～8月までの4ヶ月間の運転経費総額で550万円。内チップの消費量274トン、金額で約230万円。昨年同期と比較しますと374万円、率にしますと40%の経費削減であります。ほかの公共施設や農業施設にも導入を検討してまいります。

佐白温泉の運営状況は、4ヶ月間で約2万1千人入館。6月に1万人の入館。NPO法人布勢の郷で記念行事を行っていただきました。

現在スタッフ社員はパートの方を含め19名で対応しています。

経営、運営については町に定期的に状況報告いただいています。必要に応じ協議しています。